

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	コンピュータ支援による日本語教育について
Author(s)	ジュリエット, トンプキンス
Citation	日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集, 16期 : 122 - 129
Issue Date	2002-03-29
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038898">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00038898</a>
Right	
Relation	



# コンピュータ支援による日本語教育について

ジュリエット・トンプキンス

## I. はじめに

現在パソコンは外国語を習うために重要なものになってきた。インターネットでいろいろ役立つことが分かり、文法や教育的なことと共に文化と日常生活にも触れることができる。教科書よりパソコンを使う方がおもしろいだけでなく、対話式で行える可能性もある。CALL (Computer Assisted Language Learning)はこのような点で、パソコンを使いながら日本語を習得することができる。CALLで日本語を学習することにより、いろいろな面で上記のことを同時に実現することができる。私の研究は広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座のホームページリンク集を見ながら外国人の一人として、有益で役立つのページを選んで、意見を考え、まとめることである。なぜかという、インターネットの中に役立つサイトがいくつかあるだろうけれども、これらのサイトを探すのは時間がかかるし、リンク集を一つ作る方が賢明である。そこで、私の研究は簡単に言えば、現行のリンク集を改良することである。

最初の印象では、ほとんどのサイトの中に漢字がいっぱいあるので外国人のために作られたページではないと思われた。しかし、日本語教師になりたい人や日本人にとっては面白くて有益だと思う。その上に、外国人の学生の中にはいろいろなレベルもあるので、初級、中級、上級などの適当なサイトに分けた方がいいかもしれない。この考えに立って「リンクの分け方の意見」としてまとめた。

## II. ホームページの検討

下記のサイトに掲載されているページを検討し、リンクの分け方についての意見を下記にまとめた。それぞれのURLと共に、ページ内容の分野と考えられる対象者を( )内に、また筆者の意見をその下に示した。文字化けを起こした場合もあったが、端末機の問題と思われるので、ここでは指摘しなかった。また、一度リンクした後、数日後にはサイトの移動があったものもあったが、本稿では閲覧できたときの意見・感想としてまとめた。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/nihongo/kaken/kakenA2index.html>

### 1. 外国人日本語学習者にとって役に立つページ:

このグループは中心的な部分として、一番大切であろう。下記のリンクは私の意見として日本語学者にとって役立つものであって、外国人日本語学者の一人として、おすすめする。基本的に、一番面白いページは対話式の面もあると思って、読解、語彙と漢字だけではなくて、使いやすいデザインか実際に使える学習も入っている。サイトによって目標の学習者(TargetAudience)は違うので、( )に入れた助言を見てから適当のページを選び、使ってください。上級の方々のために面白いサイトを入れておいたが、上記の教育に関するサイトのほうが勉強になるかもしれない。

(01) とばのマナー教室 —

(上級、中級)

<http://www2s.biglobe.ne.jp/k15/>

(02) Oyanagi さんの HP —

(内容は中級だが漢字は上級)

<http://www3.tky.3web.ne.jp/oyanagi/index.html>

(03) Language lab —

(初級)

<http://jin.jcic.or.jp/kidsweb/language.html>

(04) オンデマンド・ネットワーク？日本語音声教育システム—

(初、中、上級、聞き取り)

<http://sp.cis.iwate-u.ac.jp/sp/lesson/j/index.j.html>

(05) Gahoh —

(初、中級)

<http://www3.wind.ne.jp/gahoh/index.htm>

(06) 音の日本語マンダラ —

(内容＝初級、使い方＝上級)

[http://www.linkclub.or.jp/\\_cdl-tska/](http://www.linkclub.or.jp/_cdl-tska/)

(07) 学習アニメの館 —

(初、中級、読解)

<http://www.sabah.edu.my/meiko/>

(08) 吉村弓子のホームページ —

(外国人)

<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/yumiko/>

(09) 松崎寛のホームページ —

(研究、中級、上級)

- <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiroshima/>
- (10) 日本語動詞の絵カード ー  
(初・中級)  
[http://home.hiroshima-u.ac.jp/mizumat/pictcards\\_j.html](http://home.hiroshima-u.ac.jp/mizumat/pictcards_j.html)
- (11) 日本料理を通じて学ぶ日本語ー  
(中級)  
<http://www.educ.hiroshima-u.ac.jp/mizumati/kuroki/kuroki.html>
- (12) 日常生活場面の写真 ー  
(中級)  
<http://www.educ.hiroshima-u.ac.jp/mizumati/koumoto/index.html>
- (13) 外国人と日本語教育 ー  
(上級、作文、教育情報)  
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~y-japan/>
- (14) 多言語対応日本語読解学習支援システム (あすなる) ー  
(上級、教師)  
<http://hinoki.rvu.titech.ac.jp/>
- (15) 京都大学総合人間学部マルチメディア教育運営委員会 ー  
(初級)  
<http://lily.multi.h.kyoto-u.ac.jp/index.html>
- (16) 日本語教育 VIDEO 館 ー  
(中級)  
<http://www.ivg.co.jp/ic/>
- (17) 漢字で学ぶ日本語 ー  
(中級、上級)  
<http://www.ajalt.org/kanmana/005/045hi.html>
- (18) 日本語教育の世界 日本語教育に関するいろいろなサイト ー  
(初級、中級、上級、教師)  
<http://202.245.103.41/kenshu/default.html>
- (19) ウェブ上で漢字の練習(500個)ができるページです ー  
(初級)  
<http://www.nuthatch.com/java/kanjicards>

## 2. 教師になりたい日本人と興味を持っている上級日本語学習者にとって関連性のあるページ:

下記に集めたページは日本語が何とか読める人にとっていいかもしれないが、ほとんど

の外国人に、少し分かりにくいと思う。日本語教師になりたい人に対する、有益で便利な内容が入っている。あるサイトの目的は専門的な情報を宣伝することであって、日本語教育について作文とか研究の結果などが出ている。基本的に、外国人のために作られた学習のサイトではない。日本語を教える日本人を対象としていると思われる。

これらのページの中には日本語の教え方と教える機会の関連もあるページもいくつかあり、海外で日本語を教えたい外国人に対して、有益なことであろう。しかし、一般的な印象は日本語教育に興味を持っている日本人のためのサイトである。教育情報と個人的なお知らせも出て来るようである。

ある大学とか専門学校の道案内やスタッフ、年間主要事行及び活動、教材リストなども出ている。

このようなサイトはかなり多いので、筆者が閲覧した30サイトを記す。

(01) 日本語教育のことリンク集 ー

(教育情報、教師)

[http://www.bl.mmtr.or.jp/\\_idu230/sogoinde.htm](http://www.bl.mmtr.or.jp/_idu230/sogoinde.htm)

(02) 日本語教育のページ ー

(教師)

<http://www.geocities.co.jp/Milkyway-Kaigan/3484/>

(03) あのねにほんご ー

(文学、教師)

[http://www.asahi-net.or.jp/\\_nj3n-bb/](http://www.asahi-net.or.jp/_nj3n-bb/)

(04) 吉田自然言語研究所 ー

(作文、文学)

<http://www.geocities.com/Tokyo/Flats/7725/>

(05) オンライン ー

(教師、日本語教育情報)

<http://nihongo-online.org/>

(06) 日本語教師村 ー

(教師、教育情報)

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/5796/index.html>

(07) 形で教える日本語 ー

(作文、教育情報)

[http://www4.justnet.ne.jp/\\_kugutsu/](http://www4.justnet.ne.jp/_kugutsu/)

(08) Yasoo Japan ー

(教師、教育情報)

- <http://ha2.seikyou.ne.jp/home/Yasuo.Ouchi/index.html>
- (09) Riko Wakita' s room 2000 —  
(教育情報)  
<http://moon.f-edu.fukui-u.ac.jp/>
- (10) Yano Lab —  
(教育情報)  
<http://www-yano.is.tokushima-u.ac.jp/index-jp.html>
- (11) ミラウンド・システム —  
(作文、ソフトウェア)  
[http://www.e.chiba-u.ac.jp/\\_takefuta/tsaca.html](http://www.e.chiba-u.ac.jp/_takefuta/tsaca.html)
- (12) 多言語対応日本語読解学習??システム (あすなる) —  
(教師、教育情報)  
<http://hinoki.rvu.titech.ac.jp/>
- (13) NIME (National Institute of Multimedia Education)  
(研究)  
<http://www.nime.ac.jp/index-j.html>
- (14) NIME 山田垣夫先生のホームページ  
(教師、情報)  
[http://www.nime.ac.jp/\\_yamada/index-j.html](http://www.nime.ac.jp/_yamada/index-j.html)
- (15) 河合研究室  
(教育情報)  
<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/>
- (16) 豊橋支術科学大学語学センター —  
(教育情報)  
<http://www.lc.tut.ac.jp/lc/index-j.html>
- (17) 音声研究室 —  
(英語、研究、教育情報)  
<http://www.slp.cs.ritsumei.ac.jp/>
- (18) MIBEL (Machine intelligence and biomedical laboratory) —  
(英語、研究、教育情報)  
<http://www.milab.is.tsukuba.ac.jp/>
- (19) 東北大学・文学部日本語教育研究室 —  
(教育情報)  
<http://jsl.sal.tohoku.ac.jp/index-j.html>
- (20) Dantsuji Lab —

- (英語、教師)  
<http://www.media.kyoto-u.ac.jp/organization/lang/>
- (21) 京都大学総合情報メディアセンター  
(研究、教育情報)  
<http://www.media.kyoto-u.ac.jp/>
- (22) 京都大学総合人間学部マルチメディア教育運営委員会 ー  
(教育情報)  
<http://lily.multi.h.kyoto-u.ac.jp/index.html>
- (23) 東大アーカイブ ー  
(英語、教育情報)  
<http://gamp.c.u-tokyo.ac.jp/archive/archive.htm>
- (24) Itoh&Konishi Lab ー  
(研究)  
<http://risky.cs.inf.shizuoka.ac.jp/>
- (25) Shikano Lab ー  
(英語、教師)  
<http://isw3.aist-nara.ac.jp/IS/Shikano-lab/home.html>
- (26) おちくんのホームページ ー  
(個人的、教育情報)  
<http://www-yano.is.tokushima-u.ac.jp/member/ochi/index-jp.html>
- (27) 有木康雄研究室 ー  
(研究、教師、教育情報)  
[http://arikilab.elec.rvukoku.ac.jp/ArikiLab\\_J.html](http://arikilab.elec.rvukoku.ac.jp/ArikiLab_J.html)
- (28) 大阪大学・言語文化部 ー  
(Cyber University, 教育情報)  
<http://www.lc.lang.osaka-u.ac.jp/>
- (29) 松崎寛のホームページ ー  
(教師、研究)  
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiroshima/>
- (30) 日本語屋さん@かんこく ー  
(教師、個人的)  
<http://ijustat.tripod.co.jp/>

### 3. 文化についてページ：

次のページは全て文化に関するものである。様々な面から日本の文化が扱われ、日本語を

習いながら、日本語の文化に触れることが出来る。日本の伝統的な芸術とかスポーツなどに興味があったら、これらのページは面白いだろうと思う。筆者が最も関心を持った8サイトを以下にあげる。

- (1) Tokyotokyotokyo —  
(文化)

<http://www.asahi-net.or.jp/~tx2h-mtok/nihongol.html>

Tokyotokyotokyo というサイトはほとんど日本語だけど、「ご案内」ページからリンク集に行ったら、いろいろな面白そうなページもある。日本語が読めない人には、このサイトは少し使いにくいかもしれないけれども、英語で書いてあるリンクは役立つ内容を見つけられるでしょう。リンク集の中で一番面白いのは—

<http://insc.tohokuac.jp/uehara/wjlp-home.html>、  
<http://sp.cis.iwate-u.ac.jp/sp/lesson/j/>、  
<http://sabotenweb.com/bookmarks/language.html>、  
<http://www.nihongoweb.com>

であった。その上、文化的な活動とか教育情報も出ている。いろいろな語学学習に役立つページがあって、オンライン辞書と「Phrase of the day」というのも入っている。

- (2) 日本語教育のことリンク集 —  
(文化、教育情報、教師)

[http://www.bl.mmtr.or.jp/\\_idu230/sogoinde.htm](http://www.bl.mmtr.or.jp/_idu230/sogoinde.htm)

- (3) にほんご —  
(文化、文学)

<http://www.asahi-net.or.jp/~nj3n-bb/>

- (4) 和室 —  
(文学、文化)

<http://homepage1.nifty.com/STONE/>

- (5) 日本の文化 —  
(中級、上級、文化)

<http://markun.cs.shinshu-u.ac.jp/japan/index-j.html>

- (6) The images of Japan —



(文化、中級)

<http://casa2.dokkyo.ac.jp/~japan/>

(7) 日本文化の垣間見 ー

(文化)

<http://www2j.biglobe.ne.jp/~aki/index.htm>

(8) 日本文化、Japanese Culture ー

(文化)

<http://www.yk.rim.or.jp/~taroaoki/text/bunka.html>

### Ⅲ. 結論

日本語学者にとって役に立つページはいくつかあると思う。多分最も有益なのは対話的に実際の学習を提供するサイトであろう。日本語教育情報などに通じる注目すべきページも多く存在するが、日本人のために作られた日本語教育用のページと、日本語学習者用のページを、別にしたほうがよいとの考えで、上記のような分類を試みた。ただ、観点が異なれば、有益で面白いと思うことも違うので、様々な意見が有り得よう。

私の研究の中心は日本語学習のためのサイトであるので、日本語教育に関するページとか教育材料についてページをあまり深く調べなかった。このようなページの中には面白い情報等もあるだろうと思うけれども、それは別の研究である。

ページの全てを見てから、フォーマットとデザインは使いやすさの必要要素であると思う。その上、漢字で書かれた初級日本語学習のページは目的を達成しないかもしれないことが分かった。特に子供のためには、母語で書かれたページのほうが分かりやすく有益かもしれない。しかし、絵とかビデオを見ながら日本語を習うのも価値がある方法だと思うので、一つの教え方だけではなくて、コンピュータを使えばいろいろな方法がある。

つまり、意見は人によって違うので、様々のページを使ってみて、気に入るのを利用できるのがホームページの長所である。今日の「情報社会」で他の国の言葉を簡単に習えることになった。目的を絞ったこのようなリンク集は必要なことであって、多くの人が使えてコンピュータを楽しみながら学習することが望まれる。